

9月議会 山崎市政8年間とオリンピック問題 市長を厳しく追及

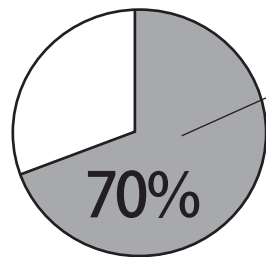
星野市議の
一般質問



市民の7割「落選して良かった」
その気持ちが変わらぬ市長答弁

星野市議は「市民の7割は五輪選考で『負けて良かった』と感じている」と指摘。市長は「善戦した」と答弁。まったく市民の気持ちをわかっていない市長の姿勢があらわになりました。

福岡が五輪の国内候補地に…



落選して
良かった

RKB 今日感テレビ、市民653人に調査

また、星野市議は、須崎埠頭の再開発についても、ムダづかいであり、きつぱりやめるべきだと要求。市側は「しっかりと検討していく」と推進に固執する答弁をしました。

オリンピック
招致費用4億6
千万円をムダに

国内候補地落選を受け、星野市議は「山崎市長が市民の声に耳を貸さず、招致活動に走った責任は重大だ」と指摘。招致費用は予算オーバーで、他の予算からの流用をふくめ2億3千万円、専任職員21人の人件費とあわせて4億6千万円にのぼることがあきらかになりました。

日本共産党

日本共産党の星野みえ子市議会議員は、9月8日、福岡市9月議会の一般質問で、オリンピック招致問題と、山崎市政の8年間についてただしました。

市長の
8年間の
公約違反ばかり
市長辞任を要求



星野市議は、8年間の山崎市政を大型開発優先、財政破たん、汚職腐敗、くらし・福祉の市民犠牲、市民無視の5点をあげて特徴づけ、「開発行政からの転換をかけたのに、公約をことごとく裏切った」と厳しく批判しました。

山崎市長は「公約違反といわれるが、よくわからない」などと答弁。

星野市議は、財政破たんとして、市民犠牲を強いた責任は大きいとして、山崎市長に、市長の辞任を要求しました。

福岡市議会ニュース

2006年9月 1007号 日本共産党福岡市議団
福岡市中央区天神 1-8-1 市議会棟 11階
電話 711-4734 <http://www.jcp-fukuoka.jp>

市民のくらしを守る 日本共産党市議団



市議会議員 (団長・南区)
宮本 秀国



市議会議員 (幹事長・早良区)
中山いくみ



市議会議員 (東区)
原田 祥一



市議会議員 (中央区)
星野みえ子



市議会議員 (博多区)
ひえじま俊和



市議会議員 (城南区)
倉元たつお

私たちががんばります



前市議会議員 (東区)
わたぬき英彦



西区・生活相談所長
熊谷あつ子

県政改革に全力



東区・県政対策委員長
つの 豊臣



博多区・県政対策責任者
大島ひさよ



南区・県政対策委員長
浜崎おりえ

主な議案への各会派の態度

主な議案	会派						
	日本共産党	自民党	公明党	みらい福岡	民主・市民	社民・市政	ネットワーク
障害児施設の利用に 応益負担導入 (障害福祉センター条例改正)	●	○	○	○	○	○	○
高齢者の入院に 居住費など負担増 (国民健康保険条例改正)	●	○	○	○	○	○	○
人工島破たん救済 2億円含む予算 (一般会計補正予算)	●	○	○	○	○	○	●
人工島の小学校に 過大な税金投入 (小学校設置条例改正)	●	○	○	○	○	○	●
市長に4年分約4 千万円退職金渡す (特別職退職手当条例改正)	●	○	○	○	○	○	○
初診料を3歳未満 まで無料化 (乳幼児医療費助成条例改正)	○	○	○	○	○	○	○

日本共産党は市長提案の31件中17件に賛成しました。

国への意見書・決議

- 高齢者への増税の中止を求める意見書案
日本共産党が提案。自民党・公明党・みらい福岡などの反対で不採択になりました。
- 飲酒運転撲滅に関する決議
日本共産党も立案に加わり全会一致で決議。

9月議会に出された請願

- マンション建設反対について (西区愛宕浜四丁目地区): 愛宕浜の住環境を守る会会長 外 1,274 人●原爆被害者への援護について: 福岡市原爆被害者の会会長 外 11 人●JRと市営地下鉄の初乗り運賃の割引拡大について: 西区西ブロック自治協議会等代表者連絡協議会代表 外 5 人●昭和バスの路線の休廃止に伴う代替交通の確保等、西区の西部6校区の交通対策について: 同前●福岡西料金所での150円の料金収受の廃止、ETCの設置について: 同前●道路造成計画の見直しについて (南区柏原四丁目地区): 個人 外7人●市民病院、こども病院・感染症センターの人工島への移転・統合反対について: 市立病院を存続させる会代表世話人 外5,008人

来年から市議選でも選挙公報

日本共産党をふくめ全会一致で決まりました。

9月の定例会市議会 日本共産党の質問



倉元たつお議員が質問

障害者自立支援法がはじまったのをうけ、市は、障害児の施設を福祉の措置制度から契約制度にかえ、お金を払える能力に応じてではなく受けたサービスに量に応じた負担(応益負担)に変える条例を提案しました。

日本共産党の倉元たつお市議は、契約制度になって市が責任を投げ捨てることになり、応益

障害児施設の利用 応益負担もちこみやめよ

このほか…
昭和バスの下山門線休止にかわる西鉄の試験バス路線が地元に乗入れる通り姪浜駅と下山門駅に乗り入れることが倉元市議の質問で明らかに

ごぞんじですか?

市長の退職金は4年で4406万円。これを下げる条例が出されましたが、なお3888万円。日本共産党は、「市民感情からみて、まだまだ高すぎる」と、抜本的な引き下げを求めて、この条例案に反対しました。



ひえじま俊和議員が市長にせまる

日本共産党のひえじま俊和市議は、自民・公明政権が押しつけた所得税・住民税などのお年寄への増税について、市として国に中止を求めるとともに、独自の軽減策をとるように要求。

ひえじま市議が今ある障害者控除を活用し介護を受けている人の税負担軽減を求めたことに対し、

市は「一定の障害が認められれば認定する」と答えました。

また、自公政権による、軽い介護の人からの介護ベッドや車いすのとりあげにたいしても、パネルを使って生々しく実態を告発。市が支援して利用を継続できるようにせよと迫りました。

この他、高すぎる国保料が払えない人から国保証をとりあげるなと要求しました。

お年寄への増税 介護ベッドとりあげぬよう市の対策を 負担軽減策を